

2022年3月期 第2四半期決算説明会 質疑応答要旨

日時：2021年11月25日(木) 10時30分～ 場所：ベルサール八重洲

出席者：代表取締役社長 大上誠一郎、常務取締役 大成俊文、取締役 岡本篤憲、  
取締役 尾関貴夫、制御システム事業部長 平光和幸福

Q1

(決算説明会資料 9 ページ)情報システム事業の新サービスであるクラウドチェーン店管理システム「ClarisLink (クラリスリンク)」とは、具体的にどのようなサービスでしょうか？

A1

「ClarisLink」は、チェーン店企業の各店舗データをクラウド上で閲覧・分析可能なサービスで、11月1日にリリースしました。スマートフォンやタブレットなどデバイスフリーで、レスポンスも非常に早く、ストレス無くご利用いただけます。今後、さらに使いやすいサービスにしていく予定です。

Q2

下期の業績を据え置いた理由として「半導体入手の不透明感」を挙げていますが、このリスクは制御システム事業におけるリスクと考えてよろしいでしょうか？ また、コロナで上期も厳しい状況だったと思いますが、仮にコロナの第6波が来たとしても上期並みの業績を維持できるのか、保守的な予想の据え置きと考えていいのか、教えてください。

A2

半導体の影響ですが、制御システム事業は全く問題ありません。影響があるとすれば、情報システム事業です。需要としてはホール様から多くのご要望があるものの、半導体の入手が年明け以降まだ見えない状況ですので、コロナの影響による今後の業績については、あえて据え置きとしています。

Q3

中期経営計画について、MGサービスを伸ばしていくのが目玉かと思います。売上構成として、3年後340億の中でMGサービスがかなりのシェアを占めていると思いますが、他にはどういったものを考えていますか？

A3

2024年度の新札対応(紙幣変更)需要を見込んでおります。

Q4

(決算説明資料 25 ページ)サステナビリティの取り組みについてですが、パチンコ業界では依存症や駐車場での幼児置き去りなどの社会的な話題があったと思います。そのような社会的なニーズを御社の製品ないしサービスに反映することをイメージしているのか、それとも企業市民としてのモラルを高めていくというニュアンスなのか、教えてください。

A4

依存症や駐車場への幼児置き去りなど社会的な課題は認識していますが、当社だけでソリューションを提供して解決できる問題ではないと思っています。こうした課題は各組合でも話題になっていますので、業界全体として当社も協力できるのであれば検討していきます。

当社は先日、サステナビリティ委員会と、実務を担うサステナビリティ部会およびダイバーシティ部会を設置しました。今後、サステナビリティ方針の策定、マテリアリティの特定などを行い、決まり次第すみやかに開示する予定です。

Q5

パチンコの稼動が好調なのに対し、パチスロの稼動が振るわない要因は何でしょうか。パチンコのようなヒット機種が出にくい要因があるのでしょうか。

A5

パチンコ・パチスロ共にゲーム性の幅が広がる規制緩和が進んでおり、当社の SIS データを見る限り、パチンコの方が現時点でファンに受け入れられている状況です。これは、パチンコでは新たなゲーム性である「遊タイム」がファンの中で浸透している一方、パチスロでは有利区間\*(\*メダルを増やす抽選を有利に受けられる区間)の上限が徐々に緩和されつつありますが、まだまだファンに受け入れられている状況に至っていないためと分析しています。

Q6

来期の市場全体における遊技機販売台数の見通しを教えてください。

A6

来期も引き続き半導体等の部材不足が想定されること、スマート遊技機の普及スピードにより販売台数が左右されることなどから、パチンコ 100 万台、パチスロ 50 万台を軸に考えています。

Q7

中期経営計画における投資内容を教えてください。

A7

情報システム事業はクラウド開発への開発投資が中心であり、制御システム事業はスマートパチスロへの投資が中心です。その他に、新サービスへの開発投資もあります。

Q8

2024 年度の新札対応(紙幣変更)について具体的に教えてください。

A8

当社の CR ユニット「VEGASIA」には、紙幣の読み取り部分である「ビルバリ」という部品があり、2023 年度の下期から 2024 年度の上期に一定数の需要があると考えています。数字については未定ですが、特需として期待しています。